ＮＯ．３	議席番号	氏　　名	質問事項・要旨及び答弁者
	８	廣　瀬　雅　一	

１．第８期木古内町老人福祉計画・介護保険事業計画について 本計画は、第７期計画の理念を継続し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確立される体制の更なる推進を図る計画で、多岐にわたり事業を実施していると認識しております。 しかしながら事業によっては、施設の休止や停止、人員不足等によりサービスの提供ができない状況から、住民のみなさんからも不安や不満の声が聞かれます。 第８期の計画は、令和５年度が最終年度であり、現状の課題を踏まえ、第９期の計画策定に向け、今後の対応策について、町長にお伺いいたします。 （１）入所を希望する方の思いを叶え、人口流出抑制の観点から介護老人保健施設の誘致が必要と考えますが如何か （２）町内において訪問入浴サービスを希望する方への対応について （３）『木古内町家族介護用品の給付に関する要綱』第２条第２項内の「木古内町に住所を有する者で」の文言の削除について	町　長
２．道の駅「みそぎの郷きこない」の増改修について 高規格幹線道路木古内インターチェンジが開通し、多くの観光客が当町に来町され、飲食店や道の駅が大変賑わっていると感じておりますが、一方で新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響により、物価が高騰し、町内の事業者は大変苦慮していると思われます。 そんな中でも、当町の道の駅は、魚の日やミニ水族館の開設、フードメニューの開発など、スタッフの努力により、某旅行雑誌の道の駅ランキングで１位を４回も取得するなど、目覚ましい活躍を見せております。また、６年目となる現在の来場者数は３５２万人と伺っており、地元出身の高校生が縄文土器の展示を発案するなど、地域に密着した情報発信の機能を持ち合わせ、さらなる交流人口増加のカギとなる施設であると考えます。 昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者数が低迷しましたが、今年に入り観光客数も徐々に増えてきており、現在５０万人の来場者と伺っているところです。 施設の運営に関しては指定管理者であります「一般社団法人木古内公益振興社」に一任する形をとっておりますが、建物の増築については、町所有の建物として、増築する考えがあるのか、町長の見解をお伺いします。	町　長